

平成21年7月1日

いしかわ農地・水・環境協議会

### ■水田魚道のモニタリング調査について

県央支部 【いなほ会】



津幡町川尻の『いなほ会』では、昨年度から引き続き「かつて失われた農村の環境・文化の再生」をテーマに県立大学、石川県、津幡町、土地改良事業団体連合会等と連携し水田魚道を設置しました。

昨年の反省(堰板が角張っていて魚たちを傷つけた)を踏まえ、堰板をヤスリがけした後に設置しました。(写真)

昨年の調査では排水路にたくさんの魚がいることは確認できましたが、稚魚が水田魚道を遡上し、田んぼの中で成長したかどうかまでは確認できませんでした。今年度は水田魚道にカゴ網を設置し、実際に魚道を通して水田に遡上しているかモニタリング

調査を行いました。結果としてフナやドジョウの稚魚がたくさんカゴ網にかかりました。

いなほ会では昨年度同様、近隣の小学校を対象に学習会や生き物調査を予定しており、この体験を通じて地域の環境や生き物への理解・興味を啓発普及したいと考えています。

### ■大人たちのビオトープ!?

南加賀支部【能美市農地・水・環境保全組合(石子町)】

能美市石子町では、「子供たちの自然研究に！」を目的として、ビオトープを作っています。自分たちで測量から掘削・施工した自慢のビオトープには、メダカやドジョウが生息しています。一度魚が全滅するという災難にも見舞われましたが、専門家の意見を聞きながら、通水力アップなどの工事を行い、魚たちも元気に泳ぎまわっています。今年はショウブを植えたので、より彩りが加わると期待しております。

また道路側には季節のお花で花壇を作り、親しみやすいビオトープを目指しています。

大人たちが自ら造る楽しさに目覚めてしまい、当初の目的である「子供たち」を差し置いて、泥んこになりながら楽しくビオトープを作ってきましたが、今後は子供たちと一緒に生物観察をしようと思っています。

また隣の田ではみんなで田植え体験を行ったり、さつまいもを収穫したり、ひまわり畑を作ったり、大人も子供も一緒になって泥んこになっています。農業っていいな、と思ってもらえるような活動を今後とも続けていきたいと思ひます。



# ■ホクリクサンショウウオが住みやすい水路

## 中能登支部 【邑知潟水土里ネットワーク】

羽咋市柳田町の農地は、ため池や邑知潟の水を利用して耕作している地域です。

周辺の山には、羽咋市の天然記念物であり、環境省の絶滅危惧種に指定されているホクリクサンショウウオがおり、ため池などから流れてくる水路にも生息しています。

しかし近年、手入れ不足の水路が泥で埋まるなど、ホクリクサンショウウオの生息への影響も心配されるようになりました。

こうしたなか、地元の柳田町老人クラブが中心となってホクリクサンショウウオの生態研究を重ねた結果、邑知潟水土里ネットワークの農村環境向上活動として平成19年に木柵水路を整備しました。

水路は、老人クラブのみなさんによるきめ細やかな管理のおかげで良好な状態に保たれ、今年の調査では多くのホクリクサンショウウオが確認できました。(写真)

邑知潟水土里ネットワークでは、今後とも地域住民のみなさんと協力しながら、地域の環境向上活動に取り組んでいきたいと思っています。



# ■みんなで取り組む環境保全活動について

## 奥能登支部 【金付川原用水活動組織】



本地域は、若山川を源流とする金付川原用水と細越山等を集水域とする3箇所のため池を中心に多様な動植物が確認されており、地元住民と金沢大学の能登半島里山・里海自然学校が連携して、生き物環境を調査診断しました。(写真) この結果、数種類の生物を確認することができました。

今後も農家、非農家の連携による地域の自然保護活動をしていくことで、地域のまとまりや、活性化へと繋げていきたいと考えております。

### 【編集後記】

今回、ご紹介したように各組織で生き物調査が多く行われているようです。未来を担う子どもたちに、地域の生息生物に触れ合ってもらえることはとても良いことだと思います。田んぼがひとつの生態系をつくっていけるよう、これからの活動をますます期待しております。また各地域の活動紹介にご協力お願いいたします。

〒920-0362 石川県金沢市古府1丁目197番地 石川県土地改良事業団体連合会内

いしかわ農地・水・環境協議会

事務局：中 正樹